

# 留萌ロータリークラブ 会報

2006▶2007  
WEEKLY REPORT

会長/中川 勝美 幹事/対馬 健一



## 率先しよう

2006~2007年度  
国際ロータリーのテーマ

留萌ロータリークラブ会長テーマ  
魅力ある明るく楽しいクラブは、  
ロータリーを知り、  
会員家族との親睦から

No. 2247 第8回 8月30日

### プログラム

- |  |  |   |
|--|--|---|
| ●本日<br>来賓卓話<br>「道議会で活動について」<br>北海道議会議員<br>石塚 正寛様 | ●次週予定<br>来賓卓話<br>富士登山駅伝大会<br>留萌チーム監督<br>近藤 一茂様 | 会員誕生日<br>8月30日 笠原 正昭<br><br>結婚記念日<br>9月3日 大嶋 孝広 |
|--|--|---|

### 出席委員会報告

前例会  
会員総数.....51名  
出免会員.....7名  
欠席会員.....8名  
出席率..... 81.82%

前々回  
第6回 8月9日  
欠席会員.....8名  
メイクアップ.....3名  
修正出席率..... 88.64%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

### 会長報告 .....

- 8月9日情報集会終了後、アップルさんの歓迎会に参加された会員皆様ありがとうございました。田中会員、二ノ宮会員には札幌でのGSE地区委員、また前地区委員との歓迎会や千歳までの見送りご苦労様でした。アップルさんも無事東京へ帰られたようです。
- 今月28日(月)平日ですが9時から第26回創始者杯争奪ゲートボール大会を萌寿園裏の留萌市民ゲートボール場で開催いたします。社会奉仕委員会の活動計画の1つです。平日で何かと忙しい事でしょうが当クラブが共催しておりますので、ぜひ開会式にでも会員の参加をお願い致します。
- 前年度の会計報告の件ですが、すでに7月27日の理事会にて承認を致しました。例会の

都合により皆様に報告が遅れていましたが、本日2005年度~06年度の会計報告をいたします。

### 幹事報告 .....

- 1) 留萌海上保安部より青い羽根募金運動の協力依頼がありました。本日募金箱を回させて頂きます。ご協力お願いいたします。
- 2) 前年度塚原ガバナーより月刊に掲載されたガバナーメッセージを取りまとめた小冊子が発行されました。クラブ会長幹事のためにとの事でしたが、皆様に回覧いたします。

## 愛好会 .....

麻雀愛好会 齋藤愛好会会長

本日午後6時30分よりスナックいふに於いて麻雀大会を開催いたします。会員の方は忘れずにご出席下さい。

## 3分間情報 .....

情報委員会 高田委員長  
(前回のつづき)

ここで、次年度の強調事項について触れさせていただくことにします。カール・ヴィルヘルム会長と同じく、私は継続の力を信じています。協力の精神を信じています。そしてもう一つ、持続性も重要であると信じています。私たちがロータリアンは、「人に魚を一匹与えればその日の飢えをしのがせることができるが、釣りの技術を教えれば、一生魚に困らない生計を与えると同じことになる」という諺の真理を理解しています。それでは、私たちの地域社会を生涯にわたってより良いところにしていくには、どうしたら良いのでしょうか。それには最も基本的なところから始めましょう。それは、水です。

きれいな水がなければ、ほとんど何もできません。水がなければ、作物を育てることはできません。安全な飲み水がなければ、子供の健康を守ることはできません。子供たちが水感染の疾病に冒されたり、何マイルも歩いて井戸まで水汲みに行く日課を強いられたりする限りは、通学もままならず、識字率の向上は望めません。水は命そのものです。喉が渇いていれば、他のことなど何もできるはずはないのです。それで私は水保全を強調事項の一つとしました。

清浄な水が十分に提供されたとしたら、どのようなことが起きるでしょうか。渇きが癒されると、他のニーズに意識が行くようになります。そのニーズとは飢えです。サンディエゴにいる皆さんには実感できないかもしれませんが、飢餓は世界中が抱える大問題です。毎年、1,100万人の子供が飢え死にしており、そのほとんど

は開発途上国の子供たちです。70パーセントは予防可能な病気で死に、その主な死因は栄養失調と水感染の疾病とされています。食糧なくして、健康はあり得ません。また、健康なくして、希望を持つことはできないのです。そこで、保健と飢餓というもう一つの強調事項が生まれました。

健康な家族は、貧困の向こうに広がるより良い将来を思い描くことができるからです。そして、貧困を免れるただ一つの道、それが識字率の向上です。識字力のある子供は識字力を備えた大人に成長し、自分の村の外にも世界が広がっていることを知り、どこにいてもより良い生活が可能であることを知るに至ります。このことから、私は識字率の向上を強調事項に加えました。

私は識字を特に大切に考えてきました。それは実家が本屋であったことにも起因しますが、識字力がどれほど大きく家族や地域社会を変える力を持っているかを示す例を数知れず見てきたからでもあります。識字力こそが、貧困の連鎖から逃れる道です。識字力は特に地域社会において正当な評価を受けていない女性たちに、社会的な力を与えます。識字は、また、地域社会が水資源や保健と飢餓の問題に取り組み、次世代を教育することを可能にします。識字は目標であると共に、初めの一步なのです。

(田中毅PDG作「ロータリーの源流」より引用)

## ニコニコBOX .....

- 会員皆様のご協力のお陰で、アップルさんのGSEの再研修を無事終了出来ました ニノ宮会員ありがとうございました 田中会員
- 前年度の決算をご承認いただきありがとうございました 河部会員
- 前年度の会計報告させていただきます ニノ宮会員
- ロータリーゴルフ大会優勝 写真いただきました 大沼会員

- ゴルフ準優勝しました 河部会員よりDVD  
いただきました 阿部会員
- ちょっと良い事がありました 武井会員
- 河部会員から写真いただきました  
中川、原田、鈴木会員
- 澤田会員より写真いただきました  
齋藤、立山会員
- 河部会員よりDVDをいただきました  
坂井会員
- 河部会員よりDVDを澤田会員より写真  
いただきました

山本、明澤、遠藤、西谷(恭)、大嶋会員

前 回	355,000円
今 回	39,000円
累 計	394,000円



## プログラム・・・・・・・・

### 「情報集会発表」

テーマ	◎会員増強について ◎クラブ細則変更について
-----	---------------------------

第1班 鈴木会員  
第1班は平井会員をリーダーに7名の会員にて話し合いが持たれました。会員増強については、会員数にて羽幌クラブには負けられない。これで良いと思った時から衰退が始まる。少数精鋭という意見も出ていました。増強でのターゲットはいつも言われていますが、商工会議所青年部、青年会議所、また退会会員や昔入会していた出先機関(日通や銀行等)の会社に狙いを付けても良いのではという意見がありました。これらの会員勧誘については、やはり攻める方法も良く考えて、会員の中からその協力者を求めるのも1つの手だという意見もありました。また、新会員候補者も4名上がっておりますので増強委員会に報告しておきます。

次にクラブ細則の変更についてですが、全般的に良く考えられている案であり、良いのではという意見が大半でした。我が班にはエレクトの関野会員が居り、エレクトが諸手を上げて賛成との事でそれ以上の意見が出ませんでした。

第2班 松川会員  
第2班はリーダー森(俊)会員以下8名にて話し合いがなされました。クラブ細則の変更についてから話し合いを始め、委員会構成については、留萌クラブはピークからみると会員が半分減ったとはいえ、他のクラブに比べるとまだ規模としては中程度以上の会員数を維持している。この状況では基本的には提案された委員会構成で良いのではという結論でした。クラブリーダーシッププランは留萌クラブよりも小規模なクラブが考えれば良いのではないかと。四大奉仕は基本的に維持するべきというのが殆どの会員の意見でした。監査1名を置く事については、厳しく監査するのであれば外部に依頼するべきで、今まで理事会にて監査してきたのだから、それをもう1歩厳しくするのであれば、事業決算報告書を作り必ず理事会に提出する事をルール化するのが現実的である。補佐室についても過去にもあったがどんな仕事があったか疑問であるし、会計補佐やSAA補佐など異なる性格の補佐をひとククリにしても意味があるのか、という意見もありました。

増強についてですが、将来については不安はある。最近新会員の研修を実施していないので5年間位遡って入会歴の若い会員を集めて研修会をしてほしい。それが退会防止につながるのではという意見がありました。

第3班 遠藤会員  
10名中8名出席にて開催しました。細則変更については清水会員の細かい説明により、委員会構成及び細則変更に関わる件はほぼ同意するとの意見でした。

会員増強については、若い年代を会員として増強する事が必要だが30代、40代の人をロータリー会員の年配者が増強に出向いても話しがまとまらない事がある。若い人は若い人なりで話を進めた方が良いでしょう。また、ロータリーは奉仕団体だけのクラブと思われがちだが、新会員になったら奉仕とは別に対人関係、会社経営、その他色々教わる事がたくさんある。という意見もありました。

## 第7回 8月23日(水) 天候/晴

### 第4班

齋藤会員

第4班も10名中8名の出席にて真剣に討議が行われました。会員増強については、クラブをPRするポスターを作製し、会員事業所に掲示する。羽幌クラブの現在の会員数が49名であり町の規模から比較すると留萌クラブより会員数が多いと思う。会員増強他、月2回の夜間例会を実施している。良い点は見習うべき。留萌クラブは委員長の負担が多く、その事が退会につながっていると思う。テーマ2の細則変更は委員長の負担が少なくなるので良いと思う。

クラブ細則変更については、具体的にはいろいろと意見が出ましたが、第4班としては大変良く考えられていて全員一致で賛成するとの事でした。

### 第5班

大嶋会員

会員増強について、サブテーマの長期人材計画についてから話され、ロータリークラブを発展させるには若いロータリアンをどう育成していくのが話されました。これについては、や

はり勉強会を開くのが良いと思いますが、このような情報集会や夜間例会の回数を増やし、ロータリー活動にもっと皆が参加し経験豊かなロータリアンから若いロータリアンに活動を通じてロータリーの真髓を伝えて行くのが良いのではという意見も出されました。会員減少による将来のクラブ存続の不安については、皆が持っている不安であり、先に述べた通りロータリー活動をもっと活発に行い、会員同士の交流を密にしてロータリーとは色々な会員がいて自分自身を高めていける楽しいクラブだと会員皆が思えばそんなに不安はおこらないという意見も出ています。新会員については業者関連や二世会員など、また各支店や出張所などの方に声を掛けるのも良いのでは。

クラブ細則については、良く考えられた案だと思うが折角簡素化したのだから、監査及び補佐室は要らないのではとの意見も出ておりました。

## 第26回 創始者杯争奪ゲートボール大会

8月28日(月)

